

スカウトちば

SCOUT CHIBA

「スカウトちば」は、日本ボーイスカウト千葉県連盟の広報誌です。

Vol.95

2020年3月21日発行

CONTENTS

スカウトからのメッセージ

地区イベント報告

研修所・実修所参加報告

先輩スカウト登場

進級章取得状況報告



YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022

写真提供: ボーイスカウト日本連盟

スカウトからのメッセージ



思いを伝えること

千葉県では毎年8月15日に県内の戦没者を追悼し平和を祈念するため、千葉県忠霊塔において拝礼式を実施しています。私たちボーイスカウトは会場設営や清掃などの奉仕活動をしたのちに参列させていただいています。参加したベンチャースカウト(高校生)は、一緒に奉仕した仲間にスカウト・OWN・サービスを通じて思いを伝えました。

また、昨年の「私の思い」～中学生の主張～千葉県大会(千葉県青少年総合対策本部主催)では応募した全県の中学生の中から選ばれた12人にベンチャースカウトが含まれていました。発表を通じての思いを伺いました。

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団

ベンチャー隊

忠霊塔拝礼式奉仕を終えて

加納 菜月

この度の千葉県忠霊塔拝礼式準備奉仕の際に、スカウト・OWN・サービスをさせて頂くことが決まって、どんな話をしようかと母に相談したところ、私の曾祖父が太平洋戦争時フィリピンで戦死していることを知りました。

私は、かつての戦争は、どこか別世界で起こったことのように感じていましたが、遠い昔の出来事ではなく、その時代に生きた人々と繋がっていることを自覚しました。

私達は、次の世代を担っていく者として、かつての日本に起こった悲惨な出来事を忘れないようにし、さらには次の世代へと繋げていかなければいけないと思っています。

私の曾祖父が、戦争という不幸な形ではありましたが、立派に国に尽くした人物であったことを誇りに思います。

我々の「ちかい」に「神(仏)と国とに誠を尽くし」とあるように、こんなにちの平和な時代に生きるスカウトとして、戦争とは別の形で国に尽くす事を戦没者に誓いを新たにしました。ボーイスカウトの仲間と心地のよい汗を流し有意義な一日となりました。



千葉地区 千葉第18団

ベンチャー隊

中学生の主張千葉県大会に参加して

藤川 亜由

中学生の主張に参加して、滅多に味わうことのない緊張と貴重な経験をさせていただくことができました。この大会を知ったときは、私が教育会館のステージに立って意見を伝えている姿を想像することはできませんでした。ただ、「私には、いろいろと人に知ってほしい意見がある、伝えたい思いがある。」その一心で原稿を書き、応募しました。

正直なところ結果には満足していませんが、やりきった思いを今でも感じています。そして何より、一緒に参加した皆さんの発表を聞いて、自分の視野が更に広がりました。私の通う中学の友人やクラスメイト以外にもこのようなすごい人がいる、こんなにすごい経験をした人がいる、そんな皆さんと同じステージに立つことができ私はとても感慨深くなります。

今回の私が発表した主張は、ボーイスカウトをやっていなければ生まれたい意見でした。また、この大会に応募する決断をすることができたのは私がボーイスカウトで得た経験が背中を押してくれたからだと思っています。このような経験ができたことを、私はとてもうれしく思っています。

地区イベント報告

キャップハンディオリエンテーリング

10月20日(日)、松戸・鎌ヶ谷地区主催によるキャップハンディオリエンテーリングが開催されました。

キャップハンディ活動は障がいのある方々を理解するために行われるもので、相手の立場を理解し、寄り添っていく気持ちを育てることがねらいです。

当日はアイマスクを着用して買い物に出かけたり、手話で好きな物を教えあったり、視野が狭くなる眼鏡や重りの入ったベストのような高齢者装具を身に着け、お年寄りの立場になった体験をしました。



松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第7団
カブ隊 坂下 友花

自分の目が不自由になっても、毎日車いすにのりとしても、今日学んだことを生かしてみたいです。今日は体験して楽しかったです。目の不自由な方が困っていたら声をかけて助けてあげたいです。

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第8団
ボーイ隊 中村 昇平

白杖(はくじょう)体験で点字ブロックが無い場所で、ヘルパーさんに助けてもらって、もしいかなかったら、どっちに行ったらよいか分からず、とても困ったと思い、点字ブロックなどをこれからも増やした方がいいと思いました。



上総地区 市原第3団

ベンチャー隊

田口 未悠

キャップハンディオリエンテーリングに参加して

今回初めてキャップハンディオリエンテーリングへ参加しました。私の所属する上総地区以外のスカウトと触れ合う機会を得てとても良い経験になりました。健常者と障がいのある方、お互いがお互いを理解することは、本当に難しいことだと思います。私はこの活動を得て思えたことは、障がいのある方々は本当に強い心

で日々生きておられ、様々な困難を乗り越えていると深く感動致しました。私自身このような交流の機会がなければ、障がいのある方の気持ちはきっとわからなかったと思います。

体験してみてこそ、初めて分かる相手の気持ち。新しく松戸第7団のお友達にも出会えて本当に参加してよかったです。貴重な機会を作ってくださった千葉県連盟松戸・鎌ヶ谷地区の皆さんに感謝です。今年の第13回日本アグーナリーでは本部スタッフのユニファイドサービスセンターの要員として参加させていただきたいと思います。今からとても楽しみです。本当にありがとうございました。

【スカウトちばANNEX対応記事】

スカウトちばANNEX 95号 2 松戸・鎌ヶ谷地区キャップハンディオリエンテーリング
<http://www.scout-chiba.jp/member/other/4083/>



防災キャラバン

未来を担う子どもたちとその保護者を対象に、万が一の有事の際に役立つ「防災」に関する知識やスキルを得て頂くことを目的にボーイスカウトとイオンが共同で実施しています。

今年度は9月23日イオンモール柏、10月6日イオンモール木更津、イオンタウンユカリが丘、10月20日イオンモール船橋の4店舗で実施、多くの方が参加され防災について体験を通して理解を深めました。

ペットボトルを使って
心臓マッサージの体験



地震発生時に液状化現象が
発生する仕組みについて水槽
を使って実験



牛乳パックを使って
「ホイッスル」を製作

南総地区 君津第2団

ベンチャー隊

「防災キャラバン」に参加して 田畑 大地

私の住む君津市では昨年の台風により、停電、断水などの災害が起きました。

今回の防災キャラバンは、被害直後という事もありたくさんの方にお越しいただき、用意した牛乳パックを使った笛作り、簡易担架作成などに挑戦していただきました。

そして、南総地区ベンチャーで作成した「ボーイスカウト流 減災ハンドブック」を参加して下さった方々に配布しました。

ハンドブックには衣・食・住に関して災害時に役立つことをたくさん掲載していますので、みなさんも機会があればご覧ください。

ベンチャースカウトは、様々なプログラムの進行などを担当することで、防災について改めて考える事ができ、充実した一日になりました。

船橋地区運動拡充委員長 栗田 隆

10月20日にイオンモール船橋にて全国防災キャラバン2019が開催されました。

当所での開催は今回が初めてでしたので、初めての来場者が多かったのですが、展示や体験を大いに楽しみながら防災意識を高めて頂くことができました。来場者アンケートも「楽しかった」に加え「日頃の備えが大事」といった声が寄せられました。

運営スタッフとして参加したベンチャースカウトやローバースカウトも、活動を楽しむとともに、担架搬送や心臓マッサージなどの体験コーナーでは若さが大きな戦力となりました。

イオン様の「お客様感謝デー」と日が重なったこともあり、一日を通し大盛況な催しとなりました。

【スカウトちばANNEX対応記事】

スカウトちばANNEX 95号 3 全国防災キャラバン2019

http://www.scout-chiba.jp/member/sc_annex/4085/



研修所・実修所参加報告

上総地区 市原第1団

保護者

Sparrow Jonathan

ボーイスカウト講習会を受講して

私は5歳から20歳までイギリスでボーイスカウトに入っていました。

イギリスでは、ボーイスカウトは一般家庭の子供が普段できない多くの経験の機会を作るための団体でした。当時はインターネットもなく、情報は自分で集めるか経験をしないと得られないものでした。ボーイスカウトは自分にたくさんのことを経験する機会や多くの友人を与えてくれ、人に対しての信頼や尊敬する心を育て、社会的な責任を持つことを教えてくれました。

日本に来て、子供が小学生に上がるのと同時に自分の子供にも同じ経験をさせたいと思い、ボーイスカウトに入団させました。入団と同時に自分のイギリスでの経験をお話したところ、リーダーの育成コースの勉強をしないかという話を頂きました。

自分が小さい頃に大変お世話になったボーイスカウトに対しお返しをする機会だと思い、今回の講習会に参加させてもらいました。このコースでは、日本のボーイスカウトの活動の仕方がイギリスと少し違うと思い、新しい発見がありました。今後の活動に参加させて頂くことを通し、活動がより良くなるよう、少しでも自分の力が役に立てれば良いと思います。これからよろしくお願いします。



八千代・習志野地区 八千代第2団

カブ隊
デンリーダー

五十嵐 千賢

ウッドバッジ研修所に参加して自然の中でのワクワク感を伝えたい

確か小学5年生のころ、夏休みに家族で北海道旅行をした時のキャンプが、私と自然の最初の記憶です。ほとんど素人同然だった父が悪戦苦闘しながら設営したテントの中で、時折響く獣の咆哮に怯えながら眠れぬ一夜を過ごしたこのときの記憶は、私にとって、星空や土や風、木々や動物たちと、同じ時間同じ空間をともにした心揺さぶられる体験として、胸に深く刻まれたものでした。

30年のときを経たこのウッドバッジ研修所。テントで横になりながら、湿った土のにおいとカサカサと耳の奥をくすぐるような風の音に、あの頃の自分と再会したような懐かしさを感じたものです。

今の子どもたちの多くがデジタルな快樂に囲まれている中、今の大人たちの多くも自然の中での遊び方ばかりかその楽しささえも満足に知らない。それじゃああんまりじゃないか。自然の中でのしか味わえないワクワク感を今の子どもたちや大人たちに知ってもらいたい!そんな想いが、指導者としての今の原動力となっています。



松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第8団

ビーバー隊
隊長

高島 麻衣子

ウッドバッジ実修所を終えて

ウッドバッジ実修所への参加を決めてから、多くの方の支えと応援により、無事にウッドバッジ実修所ビーバー課程を修了する事ができました。

第1教程を進めていくと、「スカウトや保護者のニーズを入れた集会」を見直すきっかけを貰えました。また「やくそく」と「きまり」をプログラムに取り入れる大切さ、ソングを歌う機会を更に増やしたい…そんな思いを秘めて第2教程へ臨みました。

ビーバースカウト課程第42期の開催地は静岡県浜松市太田山野営場。とても素晴らしい場所で素敵な仲間と3泊4日が過ごせたこと、静岡県連盟相談役の鈴木節子さんの特別セッションを受講できたことは私の宝物となりました。

第3教程、ここが一番大変な1年だった様に思います。課題を仕上げるためにスカウトソング研修会に参加しました。プログラムにソングを導入したことで以前よりスカウトのやる気と笑顔が増え、その結果、とても楽しいプログラムになって来ていると思います。今後も、スカウトの笑顔が増える集会を実施出来るよう学んでいきたいと思っています。



【スカウトちばANNEX対応記事】

スカウトちばANNEX 95号 1 講習会、研修会参加報告

http://www.scout-chiba.jp/member/sc_annex/4076/



先輩スカウト登場

千葉第1団 OB

三宅 志英

夢さがし

世界スカウトジャンボリーに参加するためタイを訪れた時、僕は14歳でした。生まれて初めて来た発展途上国はとても活気に満ち溢れていて、それまで日本で経験したことのないエネルギーに圧倒されたのを今でも覚えています。

あれから17年、今僕はタイのバンコクで会計士という仕事をしています。世界ジャンボリーで経験したタイのエネルギーが忘れられず、大人になってまたこの国に戻ってきたのです。

現在の職場にはタイ人と日本人がいて、毎日タイ語、日本語、英語が飛び交っています。この仕事を通して、タイと日本を経済的に繋ぐことが僕の夢です。

14歳だった僕がボーイスカウトを通して感じた感動のお陰で、自分の夢が見つけれられたのはとてもラッキーだったと思います。

そして今、これから大人になる君たちが夢を見つけるため、ボーイスカウトが役立ってくれば良いと願っています。

夢を語るなんてカッコ悪いと言う人もいるかも知れない。でも、夢のある人生の方がきっと楽しいと思うから。



進級章取得状況報告 (2019年4月1日~2020年3月21日)

富士スカウト章



- 1. 村井 岬樹 千葉第9団
- 2. 木谷 実里 千葉第18団
- 3. 石黒 貴子 松戸第1団
- 4. 金沢 侑芽 松戸第11団
- 5. 伊藤 芳治 流山第3団
- 6. 小川 芳晃 船橋第5団
- 7. 加納 菜月 松戸第1団

菊スカウト章



- 1. 大友 柁馬 柏第6団
- 2. 青木 洸士郎 流山第5団
- 3. 渡部 真衣 千葉第13団
- 4. 石井 敬大 千葉第18団
- 5. 竹村 海智也 流山第3団
- 6. 村岡 光 流山第3団
- 7. 板橋 拓也 流山第3団
- 8. 藤川 亜由 千葉第18団
- 9. 佐治 恵杏利 千葉第18団
- 10. 杉野 滉太 流山第3団
- 11. 佐野 仁胡 流山第3団
- 12. 今野 充来 流山第3団
- 13. 鈴木 李海 千葉第6団
- 14. 湯浅 勝平 千葉第6団
- 15. 齋藤 悠輔 千葉第6団
- 16. 新井 晴大 千葉第6団
- 17. 小林 真結 千葉第6団
- 18. 田畑 大地 君津第2団
- 19. 福山 虹歩 君津第2団
- 20. 新井 紗彩 柏第1団
- 21. 飯田 愛香李 旭第1団
- 22. 鈴木 来夢 旭第1団
- 23. 佐藤 志大 柏第10団
- 24. 清水 紀鈴 松戸第8団
- 25. 岡村 紀杏 松戸第8団
- 26. 中村 陽平 松戸第8団
- 27. 小島 周悟 松戸第8団
- 28. 植松 春香 市川第3団
- 29. 高橋 賢 野田第1団
- 30. 加藤 未来 鎌ヶ谷第1団
- 31. 佐久間 光琉 松戸第10団

隼スカウト章



- 1. 竹内 佳奈 船橋第3団
- 2. 木谷 実里 千葉第18団
- 3. 金沢 侑芽 松戸第11団
- 4. 来栖 孝明 旭第1団
- 5. 村松 亜里沙 君津第2団

広報関連スタッフ募集中

運動拡充委員会では、「スカウトちば」やホームページなどの広報を充実させるため下記のスタッフを募集しています。下記のスキルに該当する方々で、自薦、他薦を問いません。

応募条件

ローバースカウト、成人指導者で以下に該当する方

- ①写真、映像撮影、編集が出来る方
- ②イラストレーター、記事編集が出来る方
- ③ネット発信・拡散などが出来る方
- ④Webのデザインなどが出来る方

詳しくは下記を参照下さい。

http://www.scout-chiba.jp/member/movement_expantion/3774/



県連盟公式フェイスブックファンページ開設

県連盟では、県連盟、地区や団の活動報告を行うためにフェイスブックのファンページを開設しました。団や隊で発信したい場合は、ファンページのメッセージからお知らせ下さい。

<https://www.facebook.com/scoutchiba/>



【発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟

〒260-0001 千葉市中央区都町2-1-12 千葉県都町合同庁舎4階

TEL.043-235-8070

運動拡充委員会 編集責任 山本 勲

詳細は、日本ボーイスカウト千葉県連盟ホームページをご覧ください <http://www.scout-chiba.jp>



お問合せは